

小説「城の崎にて」の探究型学習

国語科 1年「国語総合」(2014/1/27~2/14 全 5~6 時間)

1. 授業の目標・ねらい

- ・ 図書館資料を読むことで、作品の魅力についての手掛かりを発見し、謎解きを楽しめるようにする。
- ・ 協同的に学ぶことをとおして、読むことへの意欲を高めていく。表現に対する新たな視座を獲得する。

2. 授業計画の内容

- (1) 「城の崎にて」の読解(教室、3~4時間)
第1時：ブックトーク(司書)、既習の文学作品との比較・特徴の考察
第2~4時：あらすじと構成把握、グループでの読解、心境の独白(セリフ)を考える。
- (2) 「城の崎にて」の論証(図書館、2~3時間)
第1時：図書館ガイダンス、選んだテーマから仮説を立てる(グループ活動)
第2~3時：図書館資料を使って検証し、ワークシートにまとめる(参考文献①)
- (3) 「城の崎にて」のレビュー(評論文)を書こう(教室、1時間)
レビュー(評論文)を書き、クラス内で輪読・相互評価。心境の独白(セリフ)の完成。

3. 図書館活用授業の流れと内容(上記4.(2))

- (1) 探究活動の流れと仮説の意義について説明(教諭)
- (2) 探す・読む手法説明 <目次/索引、スキミング/スキヤニング、クリティカル・リーディング>(司書)
- (3) 資料の探し方の説明<資料の配架場所、しおりの色の分類と該当部分の読み方>(司書)
- (4) 小テーマ(各グループで一つ選択)の視点から仮説を立てる。資料を使いながらグループで話し合う

大テーマ：小説「城の崎にて」の魅力はどこにあるのか？

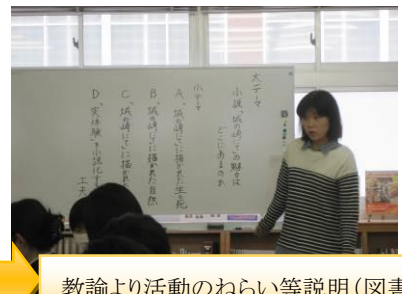
- 小テーマ：A「城の崎にて」に描かれた生と死 B「城の崎にて」に描かれた自然
 C「城の崎にて」に描かれた心情 D「実体験」を小説化する工夫



ブックトーク(教室)



グループでの読解(教室)



教諭より活動のねらい等説明(図書館)



図書館ガイダンス(探す・読む方法)



県立図書館の専門書を活用(参考文献)
目次・しおり(目印)の箇所を読む



資料を深く読み、グループで仮説決定

4. 活用した資料等

- ① 桑田てるみ(2012)『6プロセスで学ぶ中学生・高校生のための探究学習スキルワーク』全国学校図書館協議会
- ② 県立図書館より専門書 約150冊、本校資料10冊

生徒の活用例 「城の崎にて」に描かれた自然の中で、川(水)に注目し、生と死を考えたい

⇒ 平川祐弘, 鶴田欣也(1994)『アニミズムを読む 日本文学における自然・生命・自己』新曜社